

桜川文芸

俳句

【大和俳句愛好会】

疎まれて豚舎に生きる冬の蠅

鈴木ふみい

嫁ぐ娘へ願う幸せ細雪

古橋 益子

露のとう探し歩す野や風清し

成田 あさ

挨拶を交す言葉も春立ちぬ

鈴木登美子

診察日膝にたたむや春衣

田代てい子

背に鞆はしゃぐ女孫や梅三分

岩渕のぶ子

【桜川岩瀬俳句会】

里山のけふる気配や山笑う

上野 吉江

ちちははのねむる古里草萌ゆる

菊池 すい

肌をさす山越し来たる雪の風

永瀬 ちい

流し難行方はいつこ幸祈る

大関しづ子

春寒や鍬打ち込んで石の鳴り

細谷 充子

顔をそつと包むや雛納め

長井 冬扇

短歌

【やまと短歌会】

お祭りの秋の野点での主菓子を手間ひま

かけし栗の羊羹

中原すみ子

意志決定 背中をボンと押されたく写絵

の父に伺い立てる

西岡 和子

つんぬける青い空だよ

峠は雪ふるころか

野村 幸男

成田山茶髪のアベック羊羹をかじり顔見

合わせ西へ爆走

栗崎よしの

奥久慈の一口羊羹りんご味ハート模様

包みに魅せらる

高橋ミツエ

ひっそりと狭間に咲きし水引草冷たき水

の流れにゆるる

皆川 米子

【岩瀬短歌会】

森貫主年の漢字を偽と記す虚しきかなや

日本の世相

中原 宇内

また一人逝きしと友のうなだれに同窓会

場ひとときしづか

大関にち子

正月用の豆を選びつつ思ひおり同齡の友

三人も逝きしを

萩原きしの

菊の花に頼ずりをするかにそつと顔を寄

せるる白き杖を持つ男

古賀 澄

ひやひやと雫冷たきもみじ葉の昨夜の雨

あとひた紅に

大関 節子

同じこと何十回も問ふ老いをヘルパーさ

んは優しくさとす

恩田紀三子

真夜中に緊急入院する姑に付き添う夫に

声かけられず

浜野和 操

街並の変はれど久々に歩みたし母と往き

来し目黒不動尊

岡野 禮子

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-1111、内線1267

広報 さくらがわ

わたしたちの企業は、社員一人ひとりの汗で少しでも地域社会の発展に寄与できるよう努力いたしております。

総合建設業

ISO9001認証取得

白田工建株式会社

茨城県桜川市真壁町東矢貝683

TEL 0296-54-1121(代) FAX 0296-54-1797